

2023年 7月 30日

主 日 礼 拝

司 会 ②石井 秀人兄
奏 楽
祈 祷 ②小山 美枝子姉
賛 美 聖歌462番 ～主イエスをほめよ～
ヤベツの祈り

聖書朗読 詩篇16篇1～11節
特別賛美 「主の恵み」永楽教会オーケストラ&聖歌隊
メッセージ 「神様にくっついて離れない人生」
石井 潤 牧師

献 金 聖歌467番 ～パワー・オブ・ユア・ラブ～
祝 祷
お知らせ 〔司会者〕
賛 美 賛美 「生ける限り」

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆
《今週のお知らせ》

★本日も礼拝の恵みを心より感謝致します！熱中症から守られますように！

☆今週の祈り会：○早天祈祷会、明朝6時。 ◎木曜祈祷会：①午前10時半
（大和祈祷会ライブ映像）。②夜7時半。 ○準備祈祷会：土曜夜8時。

★来週の日曜礼拝も大切に致しましょう！（礼拝司会：白川兄/祈り：石井兄）

☆今年も半年守られたことを感謝して、上半期感謝献金をお捧げ致しましょう！

☆一年に一回聖書を完読できる！Bible Reading Plan〔7/30－8/6〕

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	詩篇 9-16	17-21	22-28	29-34	35-39	40-45	46-53	54-60
チェック	○○○○○ ○○	○○○○○	○○○○ ○○○	○○○○ ○○	○○○○ ○	○○○○○ ○	○○○○○ ○○○	○○○○○ ○○

「神様にくっついて離れない人生」

～波乱万丈人生を送ったダビデの信仰に倣う～

“Day and night I’ll stick with GOD; I’ve got a good thing going and I’m not letting go.” [MSG] 「私は、いつも主のことを思っています。主がすぐそばにいてくださるので、つまずいたり、倒れたりする心配もありません。」 [リビングバイブル] 詩篇 16 篇 8 節

“I saw God before me for **all time**. Nothing can shake me; he’s right by my side.” [MSG] 「主はいつも私と共におられる。主が私を助け、神の大きな力が私を支える。」 [リビングバイブル] 使徒行伝 2 章 25 節

今週から詩篇を見たいと思いますが、詩篇のほとんどはイスラエルの英雄と言われるダビデの詩(うた)です。そして、それらはダビデの信仰告白でもあります。彼は二代目の王として預言者サムエルによって任職の油を注がれました。羊飼いだっただ少年時代から特別に選ばれて、聖霊が彼の上に注がれ続けました。自分の何倍も大きな巨人ゴリアテに果敢に挑み、小石一つで打ち倒したことによって、その名を知られる人物となります。それ以降は自分の力に余るような働きも求められますが、そんな大きなストレスも、信仰によって乗り越えていきました。しかし、自分が尊敬し、後ろ盾となってくれていたサウル王から妬まれるようになり、更には命を奪われるようになります。これには、逃げるしかありません。厳しい逃亡生活が続きます。しかし、そんな状況でも壊れなかったのは、彼自身の神への信仰でした。私たちは逃れるわけにはいかない現実から逃れてもよい、しかし、信仰だけは失ってはならないと教えられているように思います。今は、生きにくい時代と言われますが、私たちの信仰が奪われるくらいならば、その場を立ち去り、主の御許に逃れ場を得ることが必要なのかもしれない。

その後ダビデは、その尊敬するサウル王の死を経験し、その後にイスラエルを治める王として迎えられます。しかし、待ち受けていたものは、さらなる諸外国との戦争でした。それは、イスラエルの国をどうにかして潰そうとする国々、また、主によって嗣業として与えられた領土を回復することを目指しての戦いでした。しかし、主が共におられたので、次々に周辺の国々を支配し、治めるようになります。この権力で得た財が、後にソロモンによって神の神殿を建て上げるために大きく用いられました。

しかし、そんな状況で彼の信仰もマンネリ化し、飢え渴きを失っていきます。そんな時に、バテシバとの姦淫の罪を犯し、忠実な家臣でもある、夫のウリヤを殺してしまうという大罪を犯します。その結果、後に、愛する息子アブサロムの反逆という報いを受けることになります。

そんな波乱万丈な人生を送ったダビデですが、彼の凄さは、やはりその信仰です。どんなことが起っても、神様から決して離れない信仰。どうしてそんな信仰を持てたのか？それは、神様ご自身が、自分自身を決してあきらめておられないことを知っていたから。だから、何があっても神様に「くっついて離れない」人生を歩む信仰を持つことができたのです！